

July 17, 2015

Agreement

The purchase and use of all Software and Services is subject to the Agreement as defined in Kaseya's "Click-Accept" EULATOS as updated from time to time by Kaseya at

http://<u>www.kaseya.com</u>/legal.aspx. If Customer does not agree with the Agreement, please do not install, use or purchase any Software and Services from Kaseya as continued use of the Software or Services indicates Customer's acceptance of the Agreement."

目次

1
1
2
4
7
8
9
10
11
12
13
15
17

最初のエージェントのインストール

まだ VSA にエージェントをインストールしていない場合は、すぐにインストールしてください。本 書に記載されている機能を試すことができます。 エージェントを手動でインストールする最速の方 法は次のとおりです。

- 1. エージェントをインストールする任意のマシンにログオンする。
- 2. そのマシンに次の URL を入力する。

http://<VSA のアドレス>/dl.asp

- デフォルトのインストールパッケージをクリックして、そのマシンへのエージェントのインストールを開始する。
 - その他のインストールパッケージがリストアップされている場合は、必要なインストール パッケージを選択する。
 - ▶ インストールが開始されると、その完了を確認するための確定をしなければならない場合 があります。
- 次のアドレスにある VSA にログオンする。 http://<VSA のアドレス>
- VSA 内で、[エージェント] > [エージェントステータス 『 http://help.kaseya.com/webhelp/JA/VSA/9010000/index.asp#250.htm を見て 』]ページを選 択する。
 - 作成したばかりのエージェントの新規マシンのアカウントがこのページのリストに表示されます。

エージェントとは

エージェント

VSA は、管理マシンに**エージェント**と呼ばれるソフトウェアクライアントをインストールして、マ シンを管理します。エージェントは、ユーザーがそのエージェントにログオンしなくても機能する システムサービスであり、インストールしてもリブートする必要はありません。エージェントは構 成可能であり、基本的にはユーザーには表示されません。エージェントの唯一の目的は、VSA ユー ザーが要求したタスクを実行することです。インストールすると:

- エージェントのアイコン—たとえば のエージェントのアイコン—が、管理されるマシンのシ ステムトレイに表示されます。エージェントのアイコンはカスタマイズ可能な画像であり、削 除することもできます。
- インストールされた個々のエージェントには、一意の VSA マシン ID/グループ ID/組織 ID が割 り当てられます。マシン ID は、エージェントのインストールの時点で自動的に、またはエージ ェントのインストールの前に個別に作成されます。
- インストールされたそれぞれのエージェントは、サービスプロバイダーが購入して使用可能に なっているエージェントのライセンスを1つ使用します。
- 通常、エージェントは、VSA内部で[エージェント] > [エージェントの配置]を使用して作成した パッケージを使用して、インストールされます。

- 同じマシンに複数のエージェントをインストールし、それぞれが別のサーバーを指すようにできます。
- VSAでは、チェックインアイコンが各マシンIDの横に表示され、管理するマシンの全体的なス テータスを示します。たとえば、③チェックインアイコンはオンライであり、現在ユーザーが ログオンしているエージェントを示します。
- チェックインアイコンをクリックすると、Live Connect と呼ばれる、管理マシンの単一のマシンインターフェースが表示されます。ライブ接続は、その1台のマシンで作業をするのに必要な総合的なデータとツールへの簡易アクセスを提供します。
- チェックインアイコンの上にカーソルを置くと、エージェントのクイック表示ウィンドウが表示されます。エージェントのクイック表示ウィンドウから、エージェント手順の起動、ログの表示、または Live Connect の起動ができます。

マシン ID 対 エージェント

エージェントについて考える場合、マシン ID/グループ ID/組織 ID およびエージェントを区別すると 便利です。マシン ID/グループ ID/組織 ID は、VSA データベース内で管理マシンを表す**アカウント名** です。エージェントは、管理されるマシンにインストールされるクライアントソフトウェアです。 管理マシンのエージェントと VSA でのアカウント名の間には1対1の関係があります。VSA ユーザ ーがマシン ID に割り当てたタスクが、管理マシンでのエージェントのアクションを指示します。

マシン ID /グループ ID / 組織 ID の階層

管理されるマシンにインストールされたエージェントは、独自のマシンID/グループID/組織IDを指定 されています。すべてのマシンIDはマシンのグループIDに属し、オプションでサブグループIDに 属します。すべてのマシンのグループIDは組織IDに属しています。組織は、通常は単一の顧客のア カウントを表します。組織が小さい場合、その組織のすべてのマシンIDを含んでいるマシンのグル ープが1つだけあります。大きな組織の場合は、通常は場所やネットワークで分類される多数のグ ループおよびサブグループがあります。たとえば、管理マシン上にインストールされたエージェン トの完全な識別子は、jsmith.sales.chicago.acmeとして定義できます。この場合、sales は、 acmeと呼ばれる組織 ID内の chicagoというグループID内にあるサブグループIDです。VSA の一 部の場所では、この階層が逆の順序で表示されます。各組織 IDには、rootと呼ばれるデフォルトの マシングループIDが1つあります。 グループIDおよびサブグループIDを作成するには、[システ ム] > [組織/グループ/部門/スタッフ] > [管理] > [マシングループ]ページを使用します。

管理マシンでのエージェントの操作

管理されるマシンのエージェントアイコン

マシンにインストールすると、エージェントはコンピュータのシステムトレイにアイコンを表示します。このアイコンは、マシンのユーザーのエージェントに対するインターフェースです。アイコンは、VSA ユーザーの判断で、[エージェント] > [エージェントメニュー]ページを使用して無効にできます。

注:[システム]>[サイトのカスタマイズ]を使用して、エージェントアイコンを詳細にカスタマイズできま す。カスタムエージェントアイコンの作成を参照してください。これには、Apple および Linux マシンの一 意のアイコンも含まれます。

エージェントアイコンのバックグランドは青色です。

エージェントが実行中であり、VSA に正常にチェックインしている場合、エージェントアイコンの

背景色は青色です。



注:エージェントアイコンをダブルクリックすると、Portal Accessの[ようこそ!]ページが表示されます。

エージェントアイコンのバックグランドは灰色です。

VSA にチェックインできない実行中のエージェントは灰色のアイコンを表示します。これは、ネットワーク接続がダウンしているか、エージェントが VSA に関して間違ったアドレスを指していることを示します。

🔊 🧐 🔀 4:36 PM

エージェントアイコンが灰色なら、以下をチェックします:

- 1. このマシンにインターネットアクセスがあることを確認します。
- エージェントが VSA への接続に使用するアウトバウンドポートをブロックしているファイアウ オールがあるかどうかを確認します。デフォルトはポート 5721 です。
- 3. このマシンアカウントのチェックインコントロールの設定が正しいことを確認します。
- 4. エージェントメニューを右クリックして[**アカウントの設定**]を選択し、フォームに正しいアド レスを入力して、手動でエージェントに VSA サーバーのアドレスを設定します。

Set Agent Accou	int Information	X
Please enter the address of automatically connects to th manage your system.	your management server. This Agent e server's IP Address or hostname to	
Machine.Group ID	newmachine.company.company-org	
Server Address	help.company.com	
ОК	Cancel	

エージェントアイコンのバックグランドは赤色です。

マシンユーザーが手動でリモートコントロールを無効にすると、エージェントアイコンが**赤色**にな ります。VSA ユーザーが各自のマシンを外部からのリモートコントロールから保護するには、[エー ジェントメニュー]を右クリックし、[**リモートコントロールを無効にする**]を選択します。



エージェントアイコンのバックグランドは白色と青色で点滅します。

エージェントアイコンは、 読むべきメッセージが待機中であると、白いバックグランドと通常のバックグランドの間で**点滅** します。アイコンをクリックすると、メッセージが表示されます。



注:メッセージ送信の設定方法の詳細については、[リモートコントロール]>[メッセージの送信]を参照してください。

エージェントメニューのオプション

エージェントアイコンを右クリックすると、マシンのユーザーが使用できるオプションのメニュー

がポップアップされます。

About Agent				
Contact Administrator				
www.kaseya.com				
Disable Remote Control				
Set Account				
Refresh				
Exit				
5"9/	4:36 PM			
注 :これらのオプショ ー1を参照してください	-のオン / オフを切り	替える方法について	[は、[エージェント] > [エージェント	メニ

エージェントメニューを無効にする

VSA ユーザーは完全にエージェントメニューを無効にして、マシンのデスクトップからアイコンを 削除できます。

🔊 🥑 4:36 PM

VSAでのエージェントの操作

監査結果の表示

マシンに初めてエージェントをインストールするときには、マシンのすべてのハードウェアおよび ソフトウェアコンポーネントに関するインベントリが作成され、VSA にその内容がレポートされま す。

エージェントをインストールして数分待ってから、VSAの[監査] > **[マシンサマリー]** 『 http://help.kaseya.com/webhelp/JA/VSA/9010000/index.asp#554.htm を見て 』ページに移動しま す。この1ページに、インストールしたマシンについての監査で返されたすべてのデータが表示さ れます。

エージェントステータス

エージェントをインストールしてチェックインすると、対応する"マシン ID"が VSA のさまざまなペ ージで表示されます。その代表的なものとして、[エージェント] > [エージェントステータス]ページ があります。エージェントのステータスページは、様々なエージェントデータのサマリビューを提 供します。

VSA の[エージェントステータス]アイコン

マシンIDを作成すると、VSAの各マシンIDのアカウントの横にチェックインアイコンが表示されま す。これらのアイコンは、各管理マシンでのエージェントチェックインステータスを示します。チ ェックインアイコンをクリックすると、Live Connect が表示されます。チェックインアイコンの上 にカーソルを置くと、エージェントのクイックビューウィンドウが表示されます。

- ◎ オンラインなのですが、最初の監査が完了するのを待っています
- ◎ エージェントがオンライン
- エージェントがオンラインで、ユーザーが現在ログインしています。アイコンがログイン名
 を示すツールティップを表示します。
- ① エージェントがオンラインで、ユーザーが現在ログインしていますが、10分間ユーザーの動きがありません

- エージェントが現在オフライン
- エージェントが今までチェックインしたことがない
- ④ エージェントがオンラインだが、リモートコントロールが不作動
- ◎ エージェントが延期された

マシンIDのリストのフィルター処理

"マシン ID"のページ上部にあるマシン ID/マシングループフィルターを使用して、表示権限をもつす べてのマシン ID の表示を制限する方法を指定できます。マシン ID/マシングループフィルターは、マ シン ID アカウントを表示する *すべての*機能ページの上部に表示されます。

Machine ID: Q Apply	Machine Group: < All Groups >	View: < No View >	💌 🖉 Edit 🙀 Reset
Go to: aegisw02.aegis.at 💙 < >	Show 10 💉 1084 machines		

フィルタパラメータを指定したら、[適用]アイコンQをクリックして*すべての*機能ページにフィルタ 設定を適用します。デフォルトでは、マシン ID/マシングループフィルターは、現在ログインしてい るユーザーが管理する<All Groups>のすべてのマシン ID を表示します。

注: ユーザーが<mark><All Groups></mark>を選択した場合でも、[システム]>[スコープ]を使用してユーザーにアクセス を許可したグループのみが表示されます。

ビューの定義

ビューの定義ウインドウは、例えば、OSタイプなど、各マシンに含まれる属性に基づいて、マシン ID / グループID フィルターをもっと向上させます。ビューは、マシンの運営と報告でユーザーに柔 軟性を提供します。ビューフィルタリングはマシン ID / グループフィルタパネル上のビュー選択ド ロップダウンリストからビューを選択し、適用アイコンQをクリックすることで、全機能ページに 適用されます。ビューはいくらでも作成でき、他のユーザーと共有できます。ビューはビュードロ ップダウンリストの[編集]ボタンをクリックして生成します。

🔚 Save 🔚 Save As	: 💥 Delete 🖉 Cancel 🧟 Share	Help
Select View:	< New View >	•
Edit Title:		
— ▼ Machine Filte	۲۲ –	
Machine Stat	tus	
☐ Show machi been online ☐ Show machi ☐ Show machi rebooted in	ines that C have	
☐ Machines w ☐ Connection ☐ IP address f	ith Credential status Missing Credential	
— 💌 05 Info ——		
- Agent Procee	dure	
- Applications		
- 💌 Add-On Modu	ules	
– 💌 Label – – –		
— 💌 Patch Manag	ement	
— Monitoring —		
🗆 Advanced ag	gent data filter Define Filter Save view before defining filter	

Live Connect

Live Connect は、ウェブベースの単ーマシンのインターフェースです。Live Connect にアクセスするに は、Ctrl キーを押しながらエージェントアイコン[®]をクリックします。または[クイックビュー]の [Live Connect]ボタンをクリックします。**ライブ接続**によって、 ある管理マシンに専用のタスクや機 能を実行できます。タブ形式のプロパティシートのメニューから、管理マシンに関する様々なカテ ゴリーの情報にアクセスできます。



クイック表示

チェックインアイコンの上にカーソルを置くと、エージェントの[**クイックビュー**]ウィンドウが表示 されます。エージェントの[**クイックビュー**]ウィンドウから、エージェント手順の起動、ログの表示 、または Live Connect の起動ができます。エージェントバッジを使用して、特別な指示テキストを[**クイックビュー**]ウィンドウの下部に表示できます。



エージェントバッジ

[エージェント]>[プロファイルの編集]ページでマシンを1台以上選択し、ページの上部にある[アイ コンバッジ]リンクをクリックして、利用可能なバッジのいずれかを選択します。バッジごとに特別 な指示のテキストメッセージを定義できます。[アップデート]ボタンをクリックして、選択したマシ ンにバッジを割り当てます。

バッジの付いているエージェントステータスアイコンの上にカーソルを置くと、[クイック表示]ウィンドウの下部に特別な指示のテキストが表示されます。

エージェントインストールパッケー ジの作成

エージェントインストールパッケージ

管理マシンにエージェントをインストールするには、エージェントインストールパッケージを使用 します。エージェントインストールパッケージは、ターゲットマシン上でのエージェントの動作を 指定するすべての設定を含みます。

[エージェント]>[**エージェントの配置**]ページには、使用している VSA で利用可能なエージェントインストールパッケージが表示されます。デフォルトのインストールパッケージは、VSA と共に提供されます。このページには、既に作成したその他のエージェントインストールパッケージのリストが表示される場合があります。

エージェントインストールパッケージは、自動アカウント作成の設定ウィザードを使用して作成します。このウィザードは、既存のマシン ID またはマシン ID テンプレートから設定をコピーし、 KcsSetup.というインストールパッケージを生成します。マシン ID、グループ ID、および組織 ID を除く、コピー元のマシン ID の設定と保留中のエージェント手順がすべて、パッケージで作成されるすべての新しいマシン ID に適用されます。

エージェントインストールパッケージの作成

[エージェント] > [エージェントの配置]ページで、[**パッケージの作成**]をクリックして**自動アカウン ト作成の設定**ウィザードを開始します。ウィザードは7ステップのプロセスです。

- 1. マシン ID の命名の規則を定義します。
 - ▶ ユーザーにマシン ID の入力を求めます。
 - ▶ コンピュータ名をマシン ID として使用します。
 - ▶ 現在ログオンしているユーザーのユーザー名をマシン ID として設定します。
 - ▶ このインストールパッケージに固定のマシン ID を指定します。
- 2. グループ ID の命名の規則を定義します。
 - ▶ 既存のグループ ドロップダウンリストから既存のグループ ID を選択します。
 - ▶ ドメイン名 ユーザーのドメイン名を使用します。
 - 新しいグループ 新しいグループ ID を指定します。このオプションは、マスター役割ユ ーザーだけを表示します。
 - ユーザーに求める ユーザーにグループ ID の入力を求めます。このオプションは、マス ター役割ユーザーだけを表示します。
- タスクバーやダイアログボックスなしでサイレントにインストールする機能を含めて、エージェントインストールパッケージのコマンドラインスイッチを指定します。
- 設定や保留中のエージェント手順をコピーするマシン ID を指定します。すべてのコピーした設定や保留中のエージェント手順―組織 ID、マシンID、およびグループIDは除きます―は、パッケージで作成したすべての新しいマシン ID に適用されます。

注:説明文「何も選択していない場合は、unknown.root.unnamed から設定をコピー」は、デフォルトのインストールパッケージが選択したマシン ID またはテンプレートに基づいています。

5. 作成しているインストールパッケージ用の OS を選択します: [ダウンロードするコンピュータ の OS を自動的に選ぶ]、[Windows]、[Macintosh]、または[Linux.]

- オプションで、ユーザーログオン証明書をインストールパッケージにまとめます。管理者資格 情報フォームに記入して、ユーザーの権限をしっかりインストールパッケージに組み込みます
 - ▶ 管理者権限がないユーザーが、管理者資格情報を入力しなくても、正常にパッケージをインストールできます。
 - 管理者資格情報が空白のままで、ユーザーにソフトウェアをインストールする管理者権限がない場合、インストールパッケージはユーザーにインストール中に管理者資格情報の入力を促します。パッケージもサイレントの場合、KcsSetupは、これを説明するダイアログメッセージを表示せずに失敗します。

管理者の資格情報 - 必要に応じて、顧客ネットワークにアクセスするための管理者の資格情報を含め て、エージェントインストールパッケージを作成できます。マシンにパッケージをインストールする ユーザーに、ネットワークへの管理者アクセスがない場合にのみ、資格情報が必要です。管理者資格 情報は暗号化され、決して明確なテキストフォームではなく、パッケージのインストールのためのも のです。

後で参照しやすくするためにインストールパッケージに名前を付けます。この名前は、[エージェントの配置]ページおよび dl.asp のダウンロードページに表示されます。

エージェントの手動インストール

[エージェントの配置]ページからインストールパッケージを手動でダウンロードする

配置エージェントのページには、 エージェントインストールパッケージをダウンロードする次の3 つのタイプのリンクがあります:

- [デフォルトエージェントのダウンロード]リンク デフォルトのエージェントインストールパッケージは、ユーザーにごとに異なります。このリンクをクリックすると、ユーザー独自のデフォルトエージェントがダウンロードされます。
- [パッケージ]リンク クリックすると、利用可能なエージェントインストールパッケージの全 リストが[エージェントの配置]ページに表示されます。これらのリンクのいずれかをクリック して、エージェントインストールパッケージをダウンロードします。
- [dl.asp]リンク クリックすると、パブリックで利用可能なエージェントインストールパッケージがすべて、[dl.asp]ウェブページにリストされます。[dl.asp]ウェブページにリストされている任意のパッケージをクリックして、ダウンロードします。

これらの方法のいずれを使用しても、エージェントのインストールに使用する同一の KcsSetup ファ イルがダウンロードされます。

エンドポイントマシンでのエージェントインストールパッケージの実行

エンドポイントマシン上で KcsSetup インストーラを実行するには、次のいずれかの方法を使用します。

- Windows
 - ➤ KcsSetup をダブルクリックして起動します。
 - コマンドラインウィンドウを開き、「KcsSetup」に続けてコマンドラインスイッチを入力します。
 - Windows の[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択し、「KcsSetup」に 続けて必要なコマンドラインスイッチを入力します。

- Macintosh および Linux
 - ➤ KcsSetup をダブルクリックして起動します。
 - Macintosh エージェントインストールパッケージの完全なファイル名は KcsSetup.app です。KcsSetup.app は KcsSetup.zip としてダウンロードされ、このファイルの[Agent]フォルダ内に KcsSetup.app があります。KcsSetup.zip ファイルをクリックして展開し、 [Agent]フォルダをクリックしてから、KcsSetup.app ファイルをクリックして実行します

注: Macintosh の場合、コマンドラインスイッチは、エージェントインストールパッケージの作成時 にのみ使用できます。

注: Linux の詳細な手順については、「Linux エージェントのインストール」を参照してください。

エージェントのインストールの自動

化

次の方法を使用して、エージェントインストールパッケージのインストールを自動化できます。

ログオン

- Windows NT ログオン手順をセットアップして、ユーザーがネットワークにログインするたび にインストールパッケージを実行します。システム要件を参照してください。
- Apple ユーザーがネットワークにログインするたびにインストールパッケージを実行する Apple OS X のログインフック手順を設定します。Apple の KB 項目 HT2420 『 http://support.apple.com/kb/HT2420 を見て 』を参照してください。

手順

- 1. [エージェント] > [**エージェントの配置**]のウィザードを使用して、配置パッケージを作成します 。
 - インストーラパッケージに/e スイッチがあり、かつ既にエージェントがマシンに存在していることを検出した場合、KcsSetup インストーラはインストールを省略します。
 - ▶ サイレントインストールのオプションを選択したい場合があるでしょう。
 - ▶ ログオン手順を実行しているユーザーにユーザー権限がない場合は、管理者の資格情報を バインドしなければならないことがあります。
- 2. dl.asp ページを使用して、該当する KcsSetup インストーラパッケージをダウンロードし、そ こからプログラムをユーザーが実行できるネットワーク共有にコピーします。
- 3. KcsSetup をログオン手順へのネットワークパスと共に追加します。
- Eメール

KcsSetup をネットワークのすべてのユーザーにEメールで送信します。エージェントの配置ページ から該当するインストーラパッケージをダウンロードして、ローカルマシンのEメールに添付しま す。デフォルトのインストールパッケージのリンクをコピーして、Eメールのメッセージにペース トできます。下記のマニュアルの箇条書きで説明するように、パッケージの起動に関する指示をパ ッケージに含めます。

ネットワークまたはドメイン別の検出

Discovery モジュールを使用して、**ネットワーク**『

http://help.kaseya.com/webhelp/JA/KDIS/9010000/index.asp#1944.htm を見て 』およびドメイン 『http://help.kaseya.com/webhelp/JA/KDIS/9010000/index.asp#10750.htm を見て 』上でマシン を検出してから、検出したマシン上に手動または自動でエージェントをインストールします。

自動的なアカウントの作成

[システム] > [**チェックインポリシー**]を使用して*自動アカウント作成*を有効にすると、エージェント インストールパッケージのインストール時にマシン ID アカウントが自動的に作成されます。VSA が インストールされている場合、このオプションはデフォルトで有効です。

IP アドレスによる新しいマシン ID のマシングループへの割り当て

すべての新しいマシンアカウントを名前未設定のグループ ID に追加する、"一般的"なインストール パッケージを作成することもできます。エージェントが初めてチェックインするときに、[システム] > [命名ポリシー]で管理マシンの IP アドレスを使用して、エージェントが正しいグループ ID または サブグループ ID、あるいはその両方に割り当てられます。エージェントの設定は、ポリシーまたは テンプレートを使用して後から構成できます。次の項目を参照してください:

- ポリシーを使用したエージェント設定の構成 『11 ページ 』
- ・ テンプレートを使用したエージェント設定の構成 『12ページ』

エージェントの構成の設定

エージェント設定

エージェント設定は、管理されるマシンでのエージェントの行動を決定します。各エージェントは 個別に構成できますが、管理するマシンのそれぞれのタイプに対して同様の設定を適用すればマシ ンの管理がより容易になります。たとえば、ラップトップ、デスクトップおよびサーバーはすべて マシンのタイプに固有の設定を行うことが可能です。同様に、ある顧客用のマシンは、別の顧客が 使用するマシンとは異なる独自の特性を持つかもしれません。エージェントの設定には、次のタイ プが含まれます。

- 証明書
- エージェントメニュー
- チェックインコントロール
- 作業ディレクトリ
- ログ
- プロファイルを編集します。
- コレクションの表示
- ポータルアクセス
- リモートコントロールポリシー
- パッチ設定
- パッチファイルソース
- パッチポリシーのメンバーシップ
- 警報
- イベントログ警報
- Monitor Sets

- ファイルの配布
- スケジュール済みエージェント手順

ポリシーとテンプレートの違い

複数のマシンでエージェント設定を管理するための一般的な方法が2つあります。

- ポリシーを使用したエージェント設定の構成 『11ページ』 これは、数百台または数千台の マシンでエージェント設定を管理する、推奨の動的な方法です。ターゲットマシンにポリシー が適用された後、伝達が自動実行されます。
- テンプレートを使用したエージェント設定の構成 『12ページ』 これは、複数のマシンでエ ージェント設定を管理する、レガシーで*静的な*方法です。エージェント設定を変更するたびに 、各ターゲットマシンにエージェント設定を手動でコピーする必要があります。

ポリシーを使用したエージェント 設定の構成

VSA の Policy Management (*KPM*) モジュールは、ポリシー別エージェント設定を管理します。ポ リシーがマシン、マシングループ、または組織に割り当てられると、その後はユーザーが介入する ことなくポリシーが自動的に伝達されます。

システム管理ウィザード

ポリシーの設定ウィザードは、[システム] > [組織/グループ/部門/スタッフ] > [管理] > [システム管 理]タブにあります。

設定ウィザードを使用すると、特定の組織のマシン運営ポリシーの構成および適用が素早くできま す。構成が済むと、その組織に代わって自分が管理する各マシンに割り当てられます。ポリシーは マシン管理の多数の側面を管理します。

- スケジューリングの監査
- モニタリング
- 警報
- パッチ管理
- エージェント手順を用いたルーチンマシン管理

ポリシーを用いれば、各マシンを個々に管理する必要がなくなります。ポリシーは割当てまたは変 更するだけで済みます。ポリシー割当てまたは割当てポリシー内の変更は、30分以内にすべてのメ ンバーのマシンに伝わるため、自分でスケジュールを設定する必要はありません。適用されると、 管理対象マシンがそれらの割当てポリシーに適合しているかまたは否かがすぐにわかります。個々 のポリシーでコンプライアンス追跡をすると、自分が管理している組織全般にわたって IT サービス が一貫して提供する必要のある情報が判明します。

注:設定ウィザード 『http://help.kaseya.com/webhelp/JA/SSP/9010000/index.asp#11220.htm を 見て 』の各オプションに関する詳細な説明については、Standard Solution Package を参照してください。

テンプレートを使用したエージェ ント設定の構成

マシンIDテンプレート

マシンID テンプレートは*エージェントがないマシンID レコードです*。エージェントはマシンID テ ンプレートアカウントにはチェックインしないので、合計のライセンス数にはカウントされません 。マシンID テンプレートは、追加コストなしでいくらでも作成できます。エージェントインストー ルパッケージを作成するときは、パッケージの設定は通常は選択したマシンID テンプレートからコ ピーされます。マシンID テンプレートは、通常は特定のタイプのマシンに対して作成および構成さ れます。マシンタイプの例として、デスクトップ、AutocCAD、QuickBooks、Small Business Server、Exchange Server、SQL Server などがあります。**対応するインストールパッケージは、定** 義するそれぞれのマシンID テンプレートに基づいて作成できます。

- [エージェント] > [作成]を使用してマシン ID テンプレートを作成します。
- [エージェント] > [インポート/エクスポート]を使用して、マシン ID テンプレートをインポートします。
- [エージェント]>[エージェントの配置]を使用して、マシンIDテンプレートをエージェントイン ストールパッケージのベースにします。
- [エージェント]>[設定のコピー]を使用して、マシンIDテンプレートから選択した設定を既存の マシンIDアカウントにコピーします。
- [システム]>[統計]を使用して、VSA内にあるマシンIDテンプレートアカウントの合計数を特定します。
- VSAの標準機能を使用して、エージェントがあるマシンIDアカウントの場合と同様に、マシン IDテンプレートの設定を構成します。
- Windows、Apple、およびLinuxのマシンで、個別のマシンIDテンプレートを使用することが推 奨されます。代わりに、適切なOSを自動的に選択するパッケージを作成して、OS固有のステ ップを使用するエージェント手順を含むテンプレートから設定をコピーすることができます。

パッケージにマシン ID テンプレートを適用するには:

- エージェントの配置のパッケージの作成ウィザードを使用して、テンプレートをソースマシン IDとして使用し、インストールするパッケージを作成した際の設定をコピーします。
- 2. この同じウィザードを使用して、追加の属性をパッケージに追加します。通常は、これらの追加の属性は顧客に応じて異なっているので、テンプレートに保存しても有益ではありません。

エージェント設定のコピー

マシンIDテンプレートは、最初は設定をコピーするソースとしてテンプレートを使用するエージェ ントインストールパッケージを作成するために使用します。ただし、管理マシンにエージェントを インストールした後でも、顧客の要件が変化し、VSA に関する知識が増加するので、既存のマシン IDアカウントの設定を更新する必要があります。この場合は、[エージェント] > [設定のコピー]を使 用して、アクセスが承認されている任意の台数のマシンIDにこれらの変更内容をコピーします。上 書きしないすべての設定について、必ず[コピーしない]を選択します。[追加]を使用して、既存の設 定を削除することなく、設定をコピーします。Kaseya は、まず選択したテンプレートに変更を行い 、それからテンプレートをソースマシンIDとして使用して、変更をコピーすることを推奨いたしま す。これによって、マシンIDテンプレートはすべてのエージェント設定にとっての「マスターレポ ジトリ」のままであり、エージェントインストールパッケージおよび既存のマシンIDアカントのソ ースとして機能できる準備が完了です。

テンプレートとフィルタされたビュー

マシンIDテンプレートと、[ビューの定義]の[**選択したマシンDのみ表示**]オプションを使用してフィ ルタリングした、選択したマシンのビューとの間には対応関係があります*(ビューの定義については、 VSA でのエージェントの操作『4ページ』を参照*)。たとえば、"ラップトップ"と呼ばれるマシンIDテ ンプレートを定義すると、"ラップトップ"と呼ばれるフィルタされたビューがある場合に、責任を負 うすべての"ラップトップ"に設定を適用するのが簡単になります。属しているマシングループに関わ らず、単に"ラップトップ"のビューを選択すると、どの機能ページにもラップトップだけが表示され ます。同じ考えは、"デスクトップ"、"ワークステーション"、"エクスチェジサーバー"などにも適用 されます。

選択したマシンのフィルタ済みビューは、上述した設定のコピー機能を使用してマシンIDテンプレートから既存のエージェントに設定をコピーする準備ができている場合、特に便利です。

ベーステンプレートと監査

マシンで監査を実行するまではどんな設定を適用するべきか明白ではないので、大半のエージェント設定を*オフ*にした"基本"テンプレートから作成したエージェントパッケージのインストールを検討してください。監査が終われば、どのマシンにどの設定を行うべきかが決まります。設定のコピー機能を使用して、適切なテンプレートから新しいエージェントへ設定をコピーします。

エージェント機能

エージェントをインストールすると、様々な追加機能を使用してエージェントを維持することができます。VSAのエージェントモジュールが提供する機能の総合リストを示します。

機能	説明
エージェントステータ ス	アクティブなユーザーアカウント、IP アドレスおよび最 後のチェックイン時間を表示します。
エージェントログ	 次のログを表示: エージェントシステムおよびエラーメッセージ エージェント手順の実行、成功または失敗。 ユーザーが行った構成変更。 ネットワークにアクセスする安全の送信/受信データ 管理されるマシンから収集したアプリケーション、システム、およびセキュリティイベントログデータ。 アラームログ リモートコントロールログ ログモニタリング
ログ履歴	ログデータの保存期間を指定します。
イベントログの設定	イベントログに含めるイベントログのタイプとカテゴリ 一を指定します。
エージェントを配置す る	複数のマシンにエージェントをインストールするエージ ェントインストールパッケージを作成します。
作成する	単一のマシンにエージェントをインストールするマシン

	ID アカウントおよび/またはインストールパッケージを 作成します。
削除する	マシン ID アカウントを削除します。
名前の変更	既存のマシン ID アカウントの名前を変えます。
グループの変更	マシンを別のマシングループまたはサブグループへ再指 定します。
設定のコピー	あるマシンアカウントから別のマシンアカウントへ設定 を大量コピーします。
インポート/エクスポー ト	スケジュール済みエージェント手順、指定済みモニター セット、および XML ファイルなどのイベントセットを含 めて、エージェント設定をインポートおよびエクスポー トします。
中断する	エージェントの設定を変更しない、エージェント手順、 モニタリング、およびパッチングなどのすべてのエージ ェント操作を中断します。
エージェントメニュー	管理されるマシンのエージェントメニューをカスタマイ ズします。
チェックインコントロ ール	エージェントマシンでのエージェントのチェックインの 頻度をコントロールします。
作業ディレクトリ	エージェントが作業ファイルを保存するために使用する ディレクトリへのパスを設定します。
プロファイルを編集し ます。	マシンアカウント情報を編集します。
ポータルアクセス	アカウントをセットアップして、マシンユーザーが自分 のマシンへのアクセスをリモートコントロールできるよ うにします。
Set Credential	パッチ管理、useCredential()手順コマンド、Endpoint Security、および Desktop Management で使用するエー ジェントのログオン資格情報を設定します。
LAN キャッシュ	同じ LAN 上でその他のマシンのファイルソースとして機 能するマシンを指定します。
LAN キャッシュを割り 当てる	選択した LAN キャッシュマシンにマシンを割り当てるか 、選択した LAN キャッシュマシンからマシンを削除しま す。
エージェントの更新	管理されるマシンのエージェントソフトウェアを更新し ます。
ファイルアクセス	悪意のあるアプリケーションまたはユーザーによる、管 理マシンのファイルへの不正なアクセスを防ぎます。
ネットワークアクセス	アプリケーションごとにネットワークアクセスを承認ま たは拒否します。
アプリケーションブロ ッカー	アプリケーションブロッカは、アプリケーションが管理 マシンで実行されることを防ぎます。

もっと学ぶ

Virtual System Administrator™の実装をすぐに開始できるように、PDF が用意されています。こ れらの PDF は、VSA オンラインヘルプの最初のトピック 『

http://help.kaseya.com/webhelp/JA/VSA/9010000 を見て 』からダウンロードできます。

Virtual System Administrator™に慣れていない場合は、次のクイックスタートガイドを使用することが推奨されます。

- 1. 開始する
- 2. ユーザー管理
- 3. エージェント構成と配置
- 4. リモートコントロールツール
- 5. モニタリング構成
- 6. カスタム・レポート

以下のリソースも利用可能です。

Kaseya University

研修オプションについては、Kaseya University 『 http://university.kaseya.com を見て 』を参照してください。

インデックス

V

VSA でのエージェントの操作-4

あ

エージェントインストールパッケージの作成 -7 エージェントとは -1 エージェントのインストールの自動化 -9 エージェントの構成の設定 -10 エージェントの手動インストール -8 エージェント機能 - 13

た

テンプレートを使用したエージェント設定の構成 - 12

は

ポリシーを使用したエージェント設定の構成 - 11

ま

もっと学ぶ - 15

漢字

管理マシンでのエージェントの操作 - 2 最初のエージェントのインストール - 1